

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 機械的排痰療法における選択方法

[当院研究責任者] 部署名 臨床工学部 氏名 小山昌利

[研究の概要]

【背景】

痰や咳を出すための力（咳嗽力）が低下し分泌物を上手く喀痰することができない場合など体位排痰法や痰の移動を促す機械的気道クリアランスが用いられる。当院における人工呼吸器装着患者の排痰困難症例に対して排痰機械であるカフアシスト（MI-E）、パーカッションベンチレータ（IPV）、胸壁振動装置（HFCWO）を用いています。

カフアシストに関しては人工呼吸を行っている入院中の患者以外の神経筋疾患等の患者に対して、排痰補助装置を使用した場合、排痰補助装置加算 1800 点算定が可能であり適応は明確である。それ以外の機械では算定はできず適応や設定・機種など定まったものがないのが現状であります。

【目的】

今回人工呼吸器装着患者の排痰困難症例に対して MI-E、IPV、HFCWO を用いた症例の評価結果について報告することで各機械における適応や設定・機種など定まったものがない現状の一助となり、より効果的な排痰方法につなげていければと期待しております。

【研究の方法】

●対象となる患者さん：2015 年 1 月～2021 年 7 月における機械的排痰を実施した患者症例 26 例です。

●研究期間：倫理委員会承認後から 2025 年 11 月までです。

●利用するカルテ情報：診断名、診療科、年齢、性別、身体所見、人工呼吸器設定項目、機械的排痰装置設定、痰の性状、所見、量、気管支鏡の分所見、呼吸数、RSBI (Rapid shallow breathing index)、重症度スコア (APACHE2)、体位、バイタルサインです。

●検体や情報の管理：情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

収集する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 臨床工学部 氏名 小山昌利

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139